

# 山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司



## りょくいんぜん つど えんじょう 第44回群馬県緑蔭禅の集い 圓成

募集中心！  
集い参加者  
← 子供禅の

去る6月10日（土）～11日（日）に掛けて、第44回緑蔭禅の集いが仁叟寺を会場にして行われました。同行事は、住職が以前会長を務めたこともあり、副住職も会員として参加をしている、曹洞宗若手僧侶の団体「群馬県曹洞宗青年会」（会長、粕川泰彦常黙庵御住職）が主催し毎年県内寺院で行っている行事です。群馬県曹洞宗青年会でも、一番伝統があり今年で44年目となる行事でもあります。

→ 上毛新聞（6/12付）に掲載されました



### 平成18年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈祷
  - 1/3～1/7 年始挨拶
  - 2/3 大節分会
  - 2/15 涅槃会
  - 3/12 大般若/施食会法要
  - 3月中旬 筆供養法要
  - 3/18～3/24 春季彼岸会
  - 4/8 降誕会(花祭り)
  - 6/10～6/11 緑蔭禅の集い
  - 7/13～7/16 京浜地区盂蘭盆会
  - 7月下旬 子供禅の集い
  - 8/13～8/16 盂蘭盆会
  - 9/20～9/26 秋季彼岸会
  - 10月中旬 檀信徒研修旅行
  - 12/8 成道会
  - 12/31 除夜会
- 毎週土・日曜日  
書道教室  
毎週水曜日  
定例坐禅会  
隔週水曜日  
華道教室・梅花講稽古

今回仁叟寺が初めて緑蔭禅の集いの会場となり、一般参加者39名、会員参加者35名、関係者他合わせまして約80名ほどが参加し、盛会裏に圓成することができました。また、二日間に亘って大本山總持寺布教部長であり千葉県長安寺大山陽堂御住職に法話を賜り、参加者に今回のテーマである「和」の大切さを説いておりました。



### ↑ 開講式で挨拶をする当寺住職

仁叟寺からは檀信徒及び坐禅会より3名の方が参加をしてくださいました。ほか、榊原茂氏、新井徳衛氏、高橋秀雄氏、龍源寺様、湯端鉦泉様、(株)放光様など仁叟寺檀信徒及び関係者より野菜や飲料などを沢山頂戴いたしました。また、寺誌写真班でもある神保佳玄氏には写真撮影をしていただきました。厚く御礼を申し上げます。



青年会禅の集い委員会より作製されたポスター↑

## 町田洋二展「旅から旅絵」開催

当寺檀信徒であり、画家であり群馬大学、上武大学な  
きょうべん と まちだようじがはく  
どで教鞭も執られた町田洋二画伯の展覧会が高崎市美術館で6月4日（日）～7月5日（水）までの間、開催されました。今回の展覧会は氏が高崎市文化賞を受賞した記念に開催。副題として「旅から旅絵」とつけられており、氏の趣味である旅をテーマとした展覧会となっております。

仁叟寺の檀信徒会館「欣光閣」入口に掲げられており、氏より当寺に寄贈された100号の絵画「タージマハール」も今回の展覧会で出品されております。この作品は氏の亡き奥様への愛情が込められており、展覧会ポスターにも使われております。

→当寺に寄贈された「タージマハール」が使われた展覧会ポスター



## 仁叟寺探索-15-

今回の探索では群馬県指定天然記念物である「カヤの木」を紹介いたします。昭和27年（1952）に県の指定を受けたカヤの木は当寺のシンボルでもあり、吉井カルタには「大きなカヤの木仁叟寺」として登場いたします。

じきおうえいしやう  
室町時代の当寺のご開山さま、直翁齋正禅師のお手植えと伝えられるカヤの木は樹齢約500年。古くは天宮さま（天狗さま）の宿り木ともいわれ当寺のご神木でもありました。昭和初期に落雷を受け先端が折れてしまい、平成



成期になり、そこから菌が入りあわや枯死とも思われましたが、県、町、寺との協力した保存活動により現在は実を付けるまで快復いたしました。写真はまだ鬱蒼とした枝ぶりのころ（左）と現在のカヤの木（右）の様子です。落雷により本堂を護ったまさにご神木のカヤの木です。枝分けしたカヤの子供もありますが、まだまだ頑張っていたきたいものです。

## 寺誌編纂室通信-17-

予定より遅れております、『仁叟寺誌』ですが、ここにきて急ピッチに編纂作業を進めております。特に監修者である、早稲田大学外園豊基教授にはご多忙にも関わらず、何度も当寺まで足を運んでいただき、朝早くから夜遅くまでその作業を行っております。

へんさんいじん また編纂委員の皆様はじめ、ぶっきやうぞうけいけんきゅうしや 佛教造形研究所さま、にほんこしょうけんきゅうかい 日本古鐘研究会さまなど多くの関係者にも原稿をいただきました。改めまして御礼申し上げます。今年度中の刊行を目指しております。宜しくご理解ご協力のほどお願い申し上げます。



かくしゅだんたいきぎょうさんぜんけんしゅうかい  
**各種団体企業参禅研修会**

毎年恒例の子供坐禅会も今年で25回目となりました。予定日程は7月24日（月）～25日（火）で、今回も多数の申し込みが当寺に届いております。また毎週水曜日夜7時から、副住職が行っております定例坐禅会も今年で5年目となりました。檀信徒以外の方も熱心に参禅をしております。是非、檀信徒の皆様もご参加をしていただきたく思っております。

さて、参禅を研修に行うサンコーグループ（寺本欣一社長たかさきけいざいだいがくぶつきょうけいせい）、高崎経済大学佛教経営フォーラムはじめ多くの企業、団体、組織の坐禅研修会を当寺では行なっております。参禅会のご希望する企業、団体、個人などおられましたら遠慮なく仁叟寺までお問い合わせください。

→サンコーグループ参禅研修会（上）  
 高経大佛教経営フォーラム参禅会（下）



ぶつぞうしゅうふくけいかくほうこく  
**仏像修復計画報告**

寺誌編纂でもお世話になっております、本間紀男先生主宰の佛教造形研究所様が仁叟寺の仏像調査を行ってから一年ほど近い時間が経ちました。その調査結果報告書が当寺に届きました。

修復が必要な仏像は多数に亘ります。貴重かつ文化財指定の仏像も多数あり、総代会に諮り、<sup>はか</sup>長期的視野に立った、修復計画を考えていくことになりました。具体的なことは後ほど役員会などで協議し、ご報告いたします。宜しくお願い申し上げます。



↑山門の仏像の修復作業を行う本間先生

←修復を待つ中世作の仁王像  
 ←300体以上確認された五百羅漢像（下）



ぼんしょうちょうさ

**梵鐘調査を行いました**

→四百年ほど前の梵鐘を、実際にみて調査を行う



日本古鐘研究会の理事である大熊恒靖氏、会員である石塚雄三氏、高橋久敬氏の3名が仁叟寺を訪れ、古梵鐘の調査を行いました。今回の調査は音響の調査を含めました本格的なもので、本堂内の古梵鐘を、(株)多胡石材産業さんのご協力の下、重機で吊るして行いました。

仁叟寺の古梵鐘は天和3年（1683）に铸造いもじされました。作者の鋳物師は幕府御用達、椎名氏で、県内ではこの一件しかない貴重な古梵鐘だそうです。報告書は仁叟寺誌にも反映をさせていただきます。ありがとうございます。

ばいかこう みりよく さんかしゃずいじほしゅうちゅう

# 梅花講の魅力 (参加者随時募集中)

『曹洞宗梅花流詠讚歌』の歴史は、本年で創立54年になります。当時作られた経緯は、大変な努力があったと聞いております。大本山永平寺監院を辞した丹羽仏庵にわぶつあん老師が、曹洞宗宗務庁に創立を幾度も進言され、色々な方のお力でようやく昭和27年(1952)に御詠歌講が発足されたとのことです。『詠讚歌』は、『歌声に仏まします梅花流』といわれますが、梅花を唱える人々の精進が、この世界を春(平和で理想的な世界(仏国土))の花で咲かせることと受けとめて頂きたいと思ひます。この梅花流詠讚歌ばいかこうは、梅花符ぎょくふに基づいた經典の曲譜しやうを唱え、右手に鉦かねを左手に鈴かねを持ってお唱えする『仏行』です。このお唱えする中で、仏道を学び仏祖や諸菩薩に親しんで頂くという曹洞宗の布教活動の一つだと思っております。この詠讚歌は、

- ①正しい信仰にいきましょう。
- ②仲良い生活(くらし)をいたしましょう。
- ③明るい世の中をつくりましょう。

といった三つのお誓いがあります。唱えることにより少しでもお誓いに近づき、また他に感動を与え仏法が伝わってくる手段となればありがたく思っております。

- 仁叟寺梅花講長 住職 渡辺啓司 指導 渡辺恵津子
- 資格 梅花流3級詠範
- 活動内容 隔週水曜日午後1時30分より、月2回の定例の稽古  
曹洞宗宗務庁主催の全国大会参加(5月か6月)  
群馬県曹洞宗宗務所主催の県大会参加(10月か11月)  
仁叟寺大般若会兼施食会奉賛御詠歌(3月第2日曜日)  
花祭り奉詠御詠歌(4月8日)  
龍源寺施食会兼蚕影山例祭奉賛御詠歌(4月29日)
- 指導 大雲寺(高崎)仁科清信御住職 地蔵院(新潟)須戸秀圓御住職  
海雲寺(安中)土屋裕之御住職 音昌寺(片品)坂西マサル様
- 講員(14名) 井上あやめ(吉井) 井上澄子(多胡) 市川由紀子(矢田)  
今川美代子(吉井) 柿田珠江(神保) 柿田マサヨ(吉井川)  
斉藤富美子(多胡) 志賀大(多胡) 酒井久子(吉井川)  
田中みき江(多胡) 三木喜久代(黒熊) 森福江(中島)  
関テル子(高崎) 柿田久枝(神保)
- 設立年月日 平成14年(2002)3月より



↑ 花祭り奉詠御詠歌



(文責 渡辺恵津子)

## 行雲流水 (編集後記)

梅雨が続いておりますが、季節はもう夏へと変わって参りました。さて、私事で恐縮ですが、今年12月より曹洞宗群馬県宗務所に梅花主事として常勤になることとなりました。

宗務所は、以前仁叟寺にもありました群馬県内の曹洞宗寺院を統括する役所であります。勤務は週3日ですが、龍源寺仁叟寺の寺務には多々影響が出るかと思われまふ。ご理解ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

編集人 副住職 渡辺龍道

→ 当寺に迷い込んだカブト虫 (昨年)

